

ワシントン州：小麦作柄と気象状況

2005年6月21日

2005年6月19日現在：

6月19日に終わる週の気象は、晴天と雨天とが交互に有る状態であった。州東部中央地区の最高気温は80～81度Fであったが、平均気温は平年を4～7度F下回った。SE地区の最高気温は79～86度Fであったが、平均気温は平年を4度F下回った。降雨は少なく、中央乾燥地帯ではRitzville観測所で0.10インチを記録したが、他の観測所では降水量はゼロであった。SE地区ではWhitmanの観測所で0.13インチ、Spokane郡では1インチ以上を記録した。1週間の州平均農作業稼働日数は6.2日(前週：5.7日)であった。Spokane郡の一部の冬小麦にRustが発生の報告があったが、急激な温度の上昇が無く、時々驟雨が有り各郡の冬小麦の作柄は改善した。冬小麦は全体の98% (5年平均：91%) が出穂した。春小麦の77%が出穂した(昨年：59%、5年平均：58%)。春小麦は例年より早い進捗である。冬小麦の作柄は前週より多少改善したが、春小麦の作柄は前週から変化しなかった。

6月10日USDA発表の6月1日付け冬小麦生産量予想では、単位収量は69.0 bu/acrであり、5月1日予想より1.0 buの増加であった。出穂後の低温・湿潤気象がプラス要因と言える。詳細は別表の通り。

土壌水分及び灌漑用状況 : 6月19日現在

	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	3	23	68	6
5-Yr Ave.	10	28	60	2
Subsoil (%)	8	39	53	0
5-Yr Ave.	7	38	54	1
Irrigation W.	7	15	78	0
Irr. Water Ave	0	1	99	0

Ave. means 5-year average

小麦の生育状況 : 6月19日現在

	This week	Last week	2004	5-yr. Ave.
Winter Wheat Headed (%)	98	95	92	91
Harvested (%)	0	0	0	0
Spring Wheat Headed (%)	77	60	59	91

小麦の作柄状況 : 6月19日現在

次ページへ：

	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent
--	-----------	------	------	------	-----------

Winter Wheat					
Dryland (%)	0	3	22	58	17
Irrigated (%)	0	1	10	61	28
Spring Wheat					
Dryland (%)	0	8	28	59	5
Irrigated (%)	2	2	19	67	10

Source : Washington Agricultural Statistics Service, USDA

6月1日付けUSDA冬小麦生産量予想：

State	Harvested Area 1,000 acres		Yield Bushels/acre			Production 1,000 bushels	
	2004	2005	2004	2005		2004	2005
				May 1	June 1		
WA	1,750	1,850	67.0	68.0	69.0	117,250	127,650
USA	34,462	35,069	43.5	45.4	44.1	1,499,434	1,545,971

当該作柄・気象レポートに関するご質問は下記にお願い致します。

小川正晃：<mailto:ogawa.max@omicnet.com>